

クラス NO	512	担当教員	三輪 憲次
テーマ	人口減少下の日本の社会経済の今後を考える		
著書・論文	著書・論文 研究課題等: [論文]「06 新人口推計に基づく長期労働力確保の展望」 日本福祉大学『経済論集』第 36 号、2008 年		
研究課題等	[研究課題] 現代資本主義論		

ゼミ概要
<p>[内容]</p> <p>日本の人口は、2006 年に 1 億 2774 万人でピークを迎え、以後減少に転じ、2025 年には 1 億 2100 万人、2050 年には 1 億 60 万人程度になると予測されています。</p> <p>戦後、一貫して「人口増加」を前提にして作られてきた日本の社会経済は、これからは「人口減少」という今まで経験したことのない前提で考えていかなければならないこととなります。</p> <p>「人口減少」の中での「少子高齢社会」の出現は、経済成長のあり方や産業構造・就業構造・雇用構造、さらに年金・保険制度など、今まで右肩上がり（人口や経済規模の拡大など）を前提として設計されて来た制度や社会の仕組みが大きく変化しようとしています。</p> <p>本ゼミナールでは、このような「人口減少」のもとでの社会や経済の変化を考えてみる事にします。</p> <p>2009 年度は、まず少子高齢化のもとで社会保障を支える大きな柱である財政のあり方と今後の展望をテーマにしたいと思います。</p> <p>[学習方法]</p> <p>テキスト『日本国増税倒産—格差是正が招くデッド・エンド』に沿って、講読とディスカッションを行っていきます。テキストでの著者の主張は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●政府は即刻「破産宣言」をし、破産処理をせよ！ ●消費税は上げてはならない。廃止せよ！ ●所得税も法人税も引き下げよ！ ●格差是正という美辞麗句に騙されるな！ ●公務員の大幅リストラに着手せよ！ <p>いずれも、近々にあると予想される総選挙の重要争点をなしており、これからの日本の経済社会を左右するものといえましょう。</p> <p>[履修上の注意]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 開講形式は上記のとおり ② 集団学習を重視しますので、皆と協調して勉強するのが得意でない人は応募しないでください。 ③ 2 年次から就職までの自分の大学生活とゼミの学習とを関連させて考えていきたい学生の応募を期待しています。

使用テキスト
森木亮『日本国増税倒産』（光文社） 2008 年

担当教員からのメッセージ
インターンシップや資格取得などの将来の職業選択に結び付けて大学生活を送っていきたいと考えている諸君の積極的な応募を期待しています。